

檜葉町除染検証委員会（第2回）

【佐藤委員・野川委員】

## 地産地消について

・年度および食材別、測定結果のまとめ

## 『地産地消について』

## — 一年度および食材別、測定結果のまとめ —

## 【1】食品種別と食品名

表 1 食品種別、放射能濃度を測定した食品名

食品種別	食 品 名
米、そば類	玄米、古米、もち米、白米、そばの実
水類	井戸水、湧き水、沢水、放流水、雪など
魚類	鮭(切り身、筋肉、卵、白子、イクラ、内蔵、骨)、ヤマメ、鮎
キノコ類	椎茸、アマタケ、しめじ、ヒラタケ、クリ茸、ナラタケ、猪ノ鼻、オリメキ、まいたけ、
山菜類	筍、淡竹(ハチク)、ウド、ふきのとう、つくし、たらの芽、ゼンマイ、フキ、ワラビ、シドケ、コシアブラ、コゴミ、
果実類	梅、柿、キウイ、柚子、栗、イチジク、ポポーの実、
野菜類	みょうが、ニンニク、サツマイモ、こんにゃく、ソルガム、じゅうねん、大豆、葉ニンニク、葉わさび、明日葉、レタス、三つ葉、小松菜、ダイコン、ジャガイモ、なす、瓜、カブ、からし菜、白菜、自然薯
鳥獣類	猪、キジ、鴨、イノブタ、山鳥、マガモ、
加工品	味噌、梅干し、梅漬け、梅シロップ、梅酒、干し柿、蜂蜜、マムシ酒、朝鮮人参、味噌漬け、ニンニクの醤油漬け、
その他	ヒバ、アオキ、水仙

## 【2】放射濃度測定数の内訳

表 2 測定年 (H24, H25) および檜葉町内外産別、放射能濃度測定件数

測定年	測定総件数	檜葉町外の測定件数	檜葉町内の測定件数
H 2 4	280	19	261
H 2 5	448	43	405
合計	728	62	666

表 3 測定年 (H24, H25) および檜葉町内産食品種別、放射能濃度測定件数

	米、そば類	水類	魚類	キノコ類	山菜類	果実類	野菜類	鳥獣類	加工品	その他	合計
H 2 4	42	87	17	16	3	42	11	8	32	3	261
H 2 5	7	76	34	26	70	134	27	11	20	0	405
合計	49	163	51	42	73	177	37	19	52	3	666

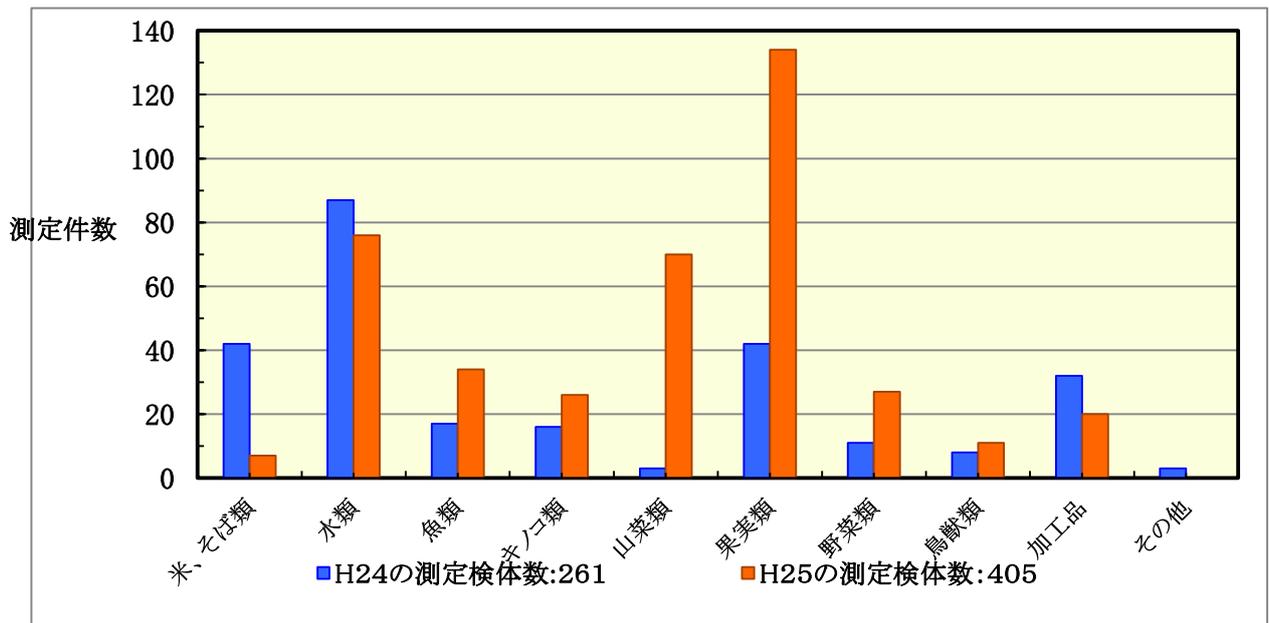


図1 測定年 (H24, H25) および檜葉町内産食品種別、放射能濃度測定件数

表 食品種別、測定結果

測定年		不検出 (N. D.)	基準値未満 (100 Bq/kg、 水類は 10 Bq/kg)	基準値以上 (100 Bq/kg、 水類は 10 Bq/kg)	合計
米、そば類	H24	39	3	0	42
	H25	5	1	1	7
水類	H24	65	19	3	87
	H25	52	24	0	76
魚類	H24	15	2	0	17
	H25	30	0	4	34
キノコ類	H24	0	1	15	16
	H25	0	1	25	26
山菜類	H24	0	1	2	3
	H25	1	31	38	70
果実類	H24	3	22	17	42
	H25	14	98	22	134
野菜類	H24	8	3	0	11
	H25	17	10	0	27
鳥獣類	H24	1	1	6	8
	H25	0	2	9	11
加工品	H24	28	4	0	32
	H25	12	7	1	20
その他	H24	—	—	—	3
	H25	—	—	—	0
合計		290	230	143	666

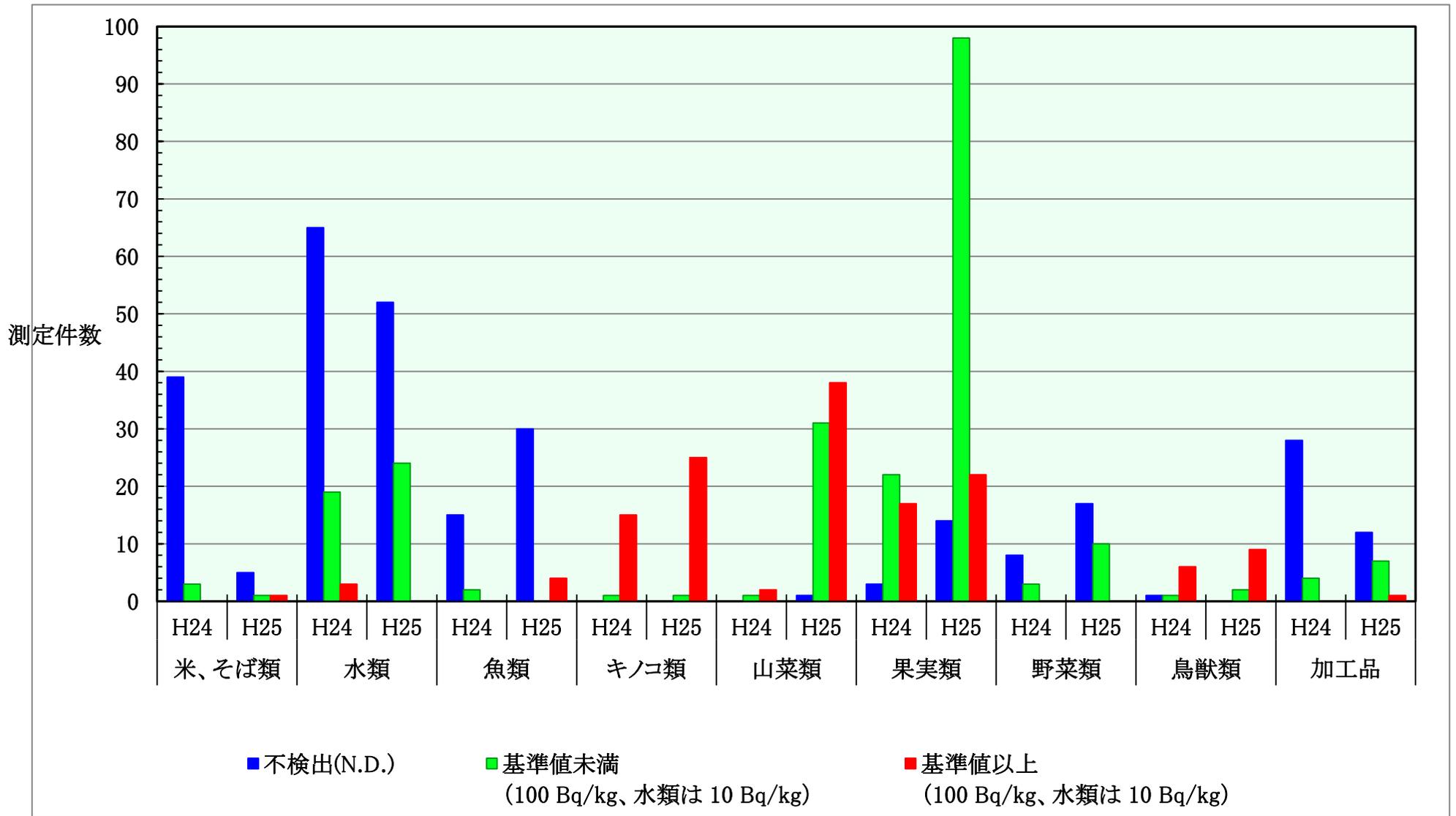


図2 測定年(H24, H25)および食品種別、放射能濃度別(N. D., 基準値未満, 基準値以上)測定結果

### 【3】使用した放射能濃度測定器

#### (1) 檜葉町：食品簡易測定

機器名 : NaIシンチレーションスペクトロメータ  
形名 : CAN—OSP—NAI  
メーカー：日立アロカメディカル社製

#### (2) 詳細分析

機器名 : ゲルマニウム半導体検出器  
形名 : GC4018  
メーカー：キャンベラ社

## 1) 検査体制について

- 測定場所 住所 檜葉町公民館 檜葉町大字北田字鐘突堂 5 番地の 5  
連絡先 電話番号 0246-46-2551  
FAX 使用不可  
メールアドレス 使用不可  
担当者 職員 菅波孝
- 受付時間 午前 9 時から午後 4 時まで（平日のみ）
- 測定の予約 不要

## 2) 試料調製について

- 採取方法 食品検体は、みじん切りにして約 1Kg をきれいなビニール袋に入れ密封した状態で検査。井戸水等については、洗ったペットボトル等に 1L 汲み置きして、蓋をしないで 2~3 日間放置した状態にしたのち蓋をして検査。
- 洗浄方法 特に指定なし
- 乾燥方法 特に指定なし

## 3) 放射能測定法について

- 放射能測定器 放射能簡易分析装置（NaIシンチレーションスペクトロメータ）  
日立アロカメディカル（株）製
- 測定量（kg、L） 野菜類については約 1Kg、井戸水等については 1L
- 測定時間 有機物は 20 分、水は 3 時間
- スクリーニングレベル（Bq/kg） 100Bq/Kg。ただし、国の基準値を超えるものはゲルマニウム検出器  $\gamma$  線核種分析装置にて再検査を行う場合あり。

（測定結果報告書の例）

- 特に様式はないが、再検査の場合ゲルマニウム検出器  $\gamma$  線核種分析装置システム「 $\gamma$  線核種分析結果」の出力様式による。
- 移行係数を低くするための方策が記載されているかどうか。特に記載なし。